

項目	視点	取組	主な意見	フロー図による区分 (例)	<関係条例> 具体的な対応内容 (事務局案を例示)
【重点項目1】 市民の協働によるまちづくりへの参画	視点①	(1)市民参加度チェックマニュアル	・行政評価マニュアルは職員への周知・浸透が重要	1. 運用面の改善	< 22条 >
			・委員の募集について、ターゲットに応じた周知媒体を使う	1. 運用面の改善	< 12条、27条 >
			・情報を発信するだけでなく、聞く業務として広聴係の充実	1. 運用面の改善	< 15条 >
			・資料も写真や画像を使うなどわかりやすく	1. 運用面の改善	< 18条 >
			・会議時間も土日、夜など集まった委員の状況で対応するなど必要	1. 運用面の改善	< 12条 >
			・会議の開催手法も今回のようにワークショップ形式のものがあれば、参加しやすい	3. 条文修正検討	< 9条3項 > 市長は、政策の形成に当たっては、 様々な手法により 市民が意見を述べる場、市民が協議する場や提言を行う場などを設け、市民が 参画しやすい環境づくり に努めなければなりません。
視点②	(1)通学合宿など	・地域の中で核となる人を育てていくことが必要。	3. 条文修正検討	< 14条3項 > 市は、コミュニティと協働でまちづくりを進めるため、コミュニティの形成、活動 及び人材育成 を積極的に支援するものとします。	
		・コミスクについては、PTAとの役割分担などを意識する必要もある。	1. 運用面の改善	< 13条、14条 >	
	(2)コミュニティ・スクール (学校運営協議会)	・地域の人を持つ技術・得意なところを把握してマッチングするような取り組みも重要。	1. 運用面の改善	< 13条、14条 >	
【重点項目2】 地域関係団体の協働によるまちづくりの取組	視点①	市民活動センターについて	・人材育成が必要、また世代によって支援が必要	3. 条文修正検討	< 14条3項 > ※再掲 市は、コミュニティと協働でまちづくりを進めるため、コミュニティの形成、活動 及び人材育成 を積極的に支援するものとします。
			・まちチャレ、市民活動自体の周知が重要	1. 運用面の改善	< 13条、14条 >
			・子育て世代の活動が少なくなっているように感じるが、SNSなどで活動しているのではないか	1. 運用面の改善	< 13条、14条 >
			・市民活動する場所から始まる支援、困っている人を繋ぐ支援が重要	4. 政策として検討	関係条文なし
			・コーディネーターの存在が大事	2. 逐条解説を整理	< 13条、14条 >
			・情報交換できる市民活動センターのような場所は重要	2. 逐条解説を整理	< 13条、14条 >

項 目	視点	取組	主な意見	フロー図による区分 (例)	<関係条例> 具体的な対応内容 (事務局案を例示)
【重点項目2】 地域関係団体の協働によるまちづくりの取組	視点②	(1)地域担当職員について	・話をする場、居場所が町内会の役割	1. 運用面の改善	<14条>
			・地域に住んでいる人の声を町内会が集約して届けてくれることで、生活環境の向上になる	2. 逐条解説を整理	<14条>
			・隣同士のコミュニティが高まると加入率も増加するのではないか。	1. 運用面の改善	<14条>
			・そこに住んでいる人の意識を変えていく必要性を理解してもらうようなことが必要。	2. 逐条解説を整理	<14条>
			・条文に地域力をアップさせるようなキーワードがあるとよいのではないか。	2. 逐条解説を整理	<14条>
			・若い人も参加できるような取り組みを運用面で進めていければという意見もあった。	1. 運用面の改善	<14条>
		(2)町内会加入率の促進について	・地域以外のコミュニティでの活動も多くなっている、そのようなことも取り込めればと思う。	1. 運用面の改善	<14条>
		・14条4項 「市は～」となっているが、市民も重要性を認識することが重要なので、「市と市民は」してはどうか。	3. 条文修正検討	<2条> (定義)	
		・「地域コミュニティ」がわかりづらいので、地域コミュニティを町内会と定義しても良いのではないか。	3. 条文修正検討	第2条 (6)コミュニティ 町内会などの地域コミュニティをはじめとする生活の場である地域社会を構成する人々の集まりや、共通の目的や関心によって結びついた人々の集まりをいいます。 (7)町内会など 町内会や自治会のように地縁によって結びついた住民自治組織をいいます。	
		・14条では「コミュニティ」「地域コミュニティ」と使い分けているので、明確に記載すべき。	3. 条文修正検討	<14条> (コミュニティ・町内会など) 第14条 市民は、自由にコミュニティを形成し、活動することができます。 2 市民、議会及び市は、コミュニティの自主性及び自立性を尊重します。 3 市は、コミュニティと協働でまちづくりを進めるため、コミュニティの形成及び活動を積極的に支援するものとします。	
・町内会のことを周知する必要があるという認識から、「市は町内会について周知に努める」というような文言があるとよいのではないか。	3. 条文修正検討	4 市と市民は、まちづくりにおいて、町内会などの果たす役割が特に重要であることを認識し、町内会などの協働を進めなければなりません。 5 市は町内会などとの協働を進めるため、町内会などの活動に係る周知の支援に努めなければなりません。			

項 目	視点	取組	主な意見	フロー図による区分 (例)	<関係条例> 具体的な対応内容 (事務局案を例示)
【重点項目 2】 地域関係団体の協働によるまちづくりの取組	視点③	(1)防災活動の活発化について	・防災の組織作りには課題も残っており、町内会の防災活動はコロナもあって減っている	1. 運用面の改善	< 13条 >
			・組織化できていない町内会も一定数あり、支援が必要	1. 運用面の改善	< 13条 >
			・組織化できていない課題は地域の人材不足	3. 条文修正検討	< 14条3項 > ※再掲 市は、コミュニティと協働でまちづくりを進めるため、コミュニティの形成、活動及び人材育成を積極的に支援するものとします。
		(2)防災における情報伝達について	・防災をどのように自分事としてとらえて意識してもらえるかが重要。	1. 運用面の改善	< 13条 >
			・市民団体・町内会が主体となった防災イベント、防災訓練などでの意識啓発も重要	1. 運用面の改善	< 13条 >
			・防災マスターとして登録されている人の活用も重要	1. 運用面の改善	< 13条 >
			・防災無線は聞き取れない、重要度がわからない、日常化してしまっているといった課題がある	1. 運用面の改善	< 13条 >
【重点項目 3】 職員の協働によるまちづくりの取組	視点	(1)職員の育成について ① →人事評価、職員研修	・自発的に地域活動に取り組む職員の意識づくり(活動の意義の理解)の醸成など大切	2. 逐条解説を整理	< 9条、11条 >
			・地域づくりに参加するきっかけ作りが大切	2. 逐条解説を整理	< 9条、11条 >
		(1)職員の育成について ② →市職員の町内会加入率	・シボラの活動重要	2. 逐条解説を整理	< 9条、11条 >
			・職員だけではなく、子どものころから地域活動について知るきっかけがあるとよい	2. 逐条解説を整理	< 9条、11条 >
【重点項目 4】 議会・議員の協働によるまちづくりの取組	視点	議会・議員の調査研究や政策形成について →ビール等による乾杯条例、ふるさと産業振興条例、スポーツ振興条例、議会基本条例	・情報発信が重要→身近に感じられるように	2. 逐条解説を整理	< 7条、8条 >
			・相談しやすいツールが重要	1. 運用面の改善	< 7条、8条 >
			・議員個人の情報発信重要	2. 逐条解説を整理	< 7条、8条 >
			・傍聴も住所と氏名が必要で、入りづらいさがあるのではないかと。	1. 運用面の改善	< 7条、8条 >
			・条例を作るにしても作る段階からの市民協働が重要だと感じる。	2. 逐条解説を整理	< 7条、8条 >
			・簡単にできることは、議会中継を見やすく	1. 運用面の改善	< 7条、8条 >
			・作った条例も市民向け周知が重要。特に子供向けに発信することで身近になる。	2. 逐条解説を整理	< 7条、8条 >